

2022年7月4日

九州電力株式会社  
東京建物株式会社  
日本管財株式会社

---

**「大分市荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業」建築着工 2024年4月開業予定****～安心・安全で魅力的なまちづくりへの貢献 大分市の新たな拠点へ～**

---

九州電力株式会社（所在：福岡県福岡市(中央区) 代表取締役社長執行役員：池辺和弘 以下「九州電力」）、東京建物株式会社（所在：東京都中央区 代表取締役社長執行役員：野村均 以下「東京建物」）、日本管財株式会社（所在：兵庫県西宮市 代表取締役社長：福田慎太郎 以下「日本管財」）は、大分市荷揚町小学校跡地の複合公共施設の着工にあたり、本日、安全祈願祭を執り行いましたのでお知らせいたします。なお、開業は2024年4月を予定しております。

本事業は、大分市が実施した「荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業」の事業者公募における事業者選定を経て、九州電力、東京建物、日本管財の3社共同で設立した特定目的会社（大分荷揚リンクスクエア株式会社）により事業を推進しております。

本事業により整備する複合公共施設は、大分市の災害対策本部や大分県内全域の119番通報を県下全消防本部と共同運用する消防指令センターのほか、大分中央公民館や府内こどもルームなどの市民コミュニティ機能により構成される、地域の安心・安全と憩いの場の創出に寄与する施設となります。

また、中間免震の採用など防災拠点としての優れた耐災害性能や事業継続性の確保に加えて、自然エネルギーの積極活用により、環境配慮型施設の指標である「CASBEE S ランク」及び「ZEB Ready」の認証取得を目指しており、大分市の脱炭素社会への取り組みや情報発信など、多面的な貢献が期待できる施設です。

さらに、同一敷地内には、広場空間と飲食店・物販店を組み合わせた立体交流広場（民間施設）を整備します。これらの官民一体となった施設の整備・運営を通じて大分市の安心・安全で魅力的なまちづくりに貢献してまいります。



施設全景イメージ

〔荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業 計画概要〕

事業者	大分荷揚リンクスクエア株式会社（九州電力、東京建物、日本管財の3社で共同設立）
所在地	大分市荷揚町32番ほか
敷地面積	約9,900㎡（約3,000坪）
構造規模	複合公共施設：鉄骨造7階建 立体駐車場棟：鉄骨造6階建 民間施設：鉄骨造2階建
延床面積	複合公共施設：約10,200㎡（約3,100坪） 立体駐車場棟：約7,700㎡（約2,300坪、約350台分） 民間施設：約1,000㎡（約300坪）
スケジュール	建築着工：2022年7月
	竣工・開業：2024年4月（予定）
設計会社	久米・俊・大有 共同企業体
施工会社	西松・梅林 建設共同企業体

\*本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における4つの目標に貢献しています。

- 目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 目標11 住み続けられるまちづくりを
- 目標13 気候変動に具体的な対策を
- 目標17 パートナーシップで目標を達成しよう

